

南沼上・麻機地区のまちづくり

この地区で目指す姿

安全・安心な食を支える仕組みと豊かな自然環境の中で、健康的に暮らし続けることができるまち

実現に向けた主な取組

1. 静岡型食と農システムの推進

- 安全・安心で安定した食の供給を将来にわたり持続可能なものとするため、卸売市場の機能強化や学校給食を含む加工機能の改善を通じた官民連携による食と農システムの構築を進めます。

2. 有機農業の推進

- 実証ほ場の運用や量販店との連携、イベントでの周知を通じて有機農業の生産から消費までを一体的に推進するとともに、低・未利用資源を活用した肥料製造により地産地消と循環型農業を進めます。

3. 麻機遊水地の整備・活用

- 自然観察や環境学習、スポーツ・レクリエーションなど、多様な利用ができる自然共生空間を整備し、健康・福祉や防災とも連携したまちづくりを進めます。

こんなことが実現されます

- 安全・安心な食が安定して供給されるようになります。
- 地域農産物や有機農産物を身近に利用できるようになります。
- 豊かな自然の中で学びや体験、スポーツやレクリエーションを楽しめるようになります。
- 食関連産業や農業の発展、新たな雇用の創出により地域経済の活性化につながります。

麻機・南沼上周辺図

凡例： ハードの取組 ソフトの取組

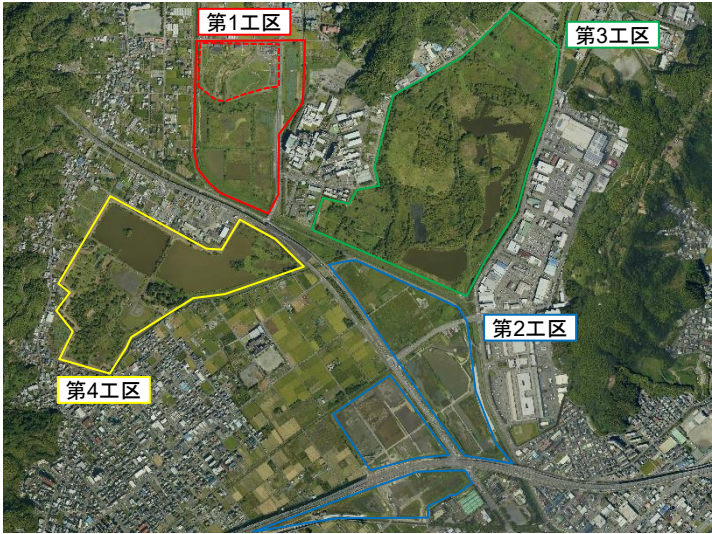
※各取組の詳細は取組名をクリック！



取組概要

麻機遊水地保全活用推進協議会の運営や遊水地の環境整備を行うことで、市民が主体的に自然再生活動に取組むことや遊水地内を幅広く活用できるようになる。

- 地域の活動団体や自治会、専門家、行政で構成される麻機遊水地保全活用推進協議会を運営し、遊水地における活動を支えています。
一方で、遊水地を活用する上で人が訪れるための環境が整っていません。
- 協議会の運営を継続し、遊水地を活用する団体を支え、木道などの環境整備を実施することで遊水地を利活用できる状態とします。
- 将来的には、遊水地内で市民による主体的な自然再生活動や憩い・学びの場として幅広く活用できるようになります。



今後の予定

	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年
協議会運営										
	麻機遊水地保全活用推進協議会の運営									
遊水地整備										
	桜植樹帯整備(2工区)		木道整備(4工区)							

⑤経済・産業

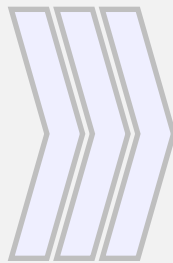
目指すべき未来像

地域の「稼ぐ力」が高く、魅力ある雇用があり、所得が高く、やりたい仕事でいきいきと働くことができるまち

現状と課題

- ・静岡市は大学や専門学校などの学生数が多いことが強みです。しかし、企業用地やオフィスの供給不足のため、企業の新規立地など産業の新陳代謝が停滞したことで、若年層への雇用創出が少なく、学生の市外流出が続いています。
- ・地域の「稼ぐ力」を高めるためには、企業誘致やスタートアップ支援、共創によるイノベーション創出、海洋など地域特性を活かした産業振興が欠かせません。労働力人口減少に対応し、多様な人材が働きやすい環境整備やDX推進による効率化を図ることも必要です。
- ・社会経済の変化に伴う商業環境の変化に対応し、中心市街地「おまち」の価値をこれからの時代に対応した形で高めるため、「職・住・福・商・学・遊」が近接するまちづくりを進めることが重要です。
- ・農業・水産業では担い手不足や高齢化が課題であり、有機農業や資源管理を進め、収益性を高める取組が必要です。

課題解決のための
具体的な取組



静岡市社会変革(BX)の推進

★取組概要

貝島・折戸地区

静岡市を実証フィールドとして、海洋分野の新技术やサービスの社会実装に挑戦する企業を出資と伴走型支援で支え、地域課題の解決や産業競争力を強化することで、海洋関連産業を発展させる。



清水港での水中ドローン 人工海藻による漁場造成
の実証実験



の実証実験

静岡型食と農システム推進事業

★取組概要

南沼上・麻機地区周辺

中央卸売市場の老朽化への対応や学校給食の運営効率化等の課題を解決するため、地域の生産・加工・流通・消費を一体的につなぐシステムを構築し、市民の生活に欠かせない「安全・安心で安定した食の供給」を持続可能なものとしていく。



静岡市中央卸売市場における競りの様子



学校給食センターにおける調理風景

有機農業の推進

★取組概要

南沼上・麻機地区周辺

実証ほ場の運用や量販店との連携、イベントでの周知を通じ、有機農業を一体的に推進する。また、循環型農業の実現に向け、低・未利用資源を活用した肥料製造に取り組む。これらの取組を通して、農業の環境負荷低減と収益性の向上を目指す。



葵区桂山での有機農作物
の実証栽培



有機農法で栽培した
ニンジン